

令和6年度徳島県立総合看護学校 学校関係者評価報告書

徳島県立総合看護学校

徳島県立総合看護学校は、「令和6年度徳島県立総合看護学校の自己点検・自己評価結果報告書」を基に、学校関係者評価を実施しましたので、次のとおり報告します。

1 学校関係者評価の概要と実施状況

(1) 評価体制

ア 評価委員	齋藤 義郎	一般社団法人徳島県医師会 会長
	森 恭子	公益社団法人徳島県看護協会 会長
	葉久 貴司	徳島県立中央病院 病院長
	三宅 秀則	徳島市 病院事業管理者
	岩佐 幸恵	国立大学法人徳島大学大学院医歯薬学研究部 教授
	森口 浩徳	徳島県 政策監補兼保健福祉部長
イ 事務局	頭師 正彦	校長
	山本 博司	委託業務管理責任者
	岡山 愛	副校長兼事務長
	水田 克子	教頭（第一看護学科担当）
	藍原 美鈴	副校長（第二・准看護学科担当）
ウ オブザーバー	多田 和代	徳島県保健福祉部医療政策課 課長補佐
	中村真由美	一般社団法人徳島県医師会 事務局長

(2) 第1回学校関係者評価

- ア 日時 令和6年11月
- イ 場所 書面開催
- ウ 内容 「自己点検・自己評価結果報告書」及び「自己評価の分析資料」に対する評価委員の意見を取りまとめた。

(3) 第2回学校関係者評価

- ア 日時 令和7年2月4日（火）午後3時から
- イ 場所 徳島県立総合看護学校 本館1階 会議室
- ウ 内容 評価委員から提出された意見を整理、集約し、評価報告書としてまとめた。

2 評価結果

卒業生アンケートの回収率が低い要因について検討した上で、情報交換の場としてホームカミングデーなどで在校生との交流の機会を持つことは非常に重要であり、是非実現していただきたい。

教員の研究活動においては、時間の保証のみならず、研究費の確保などの財政面や、論文の入手のしやすさ、研究スペースの確保などの環境面の保証も重要であり、尚一層の充実が求められる。

また、看護を志す学生の確保は、地域の保健・医療・福祉サービスを安定して提供するため、また質の高い看護職を多く輩出してきた学校の存続のためにも喫緊の課題であることから、柔軟な学生確保策や学校独自の魅力発信など、引き続き積極的な取組を期待する。

以上